



アマチュアオーケストラ

新交響楽団第219回演奏会

The New Symphony Orchestra—219th Concert

指揮 **曽我 大介**

SOGA Daisuke, conductor

ガーシュウィン

キューバ序曲

George GERSHWIN (1898-1937): Cuban Overture, 1932

ラズノデイ・イン・ブルー

George GERSHWIN (1898-1937): Rhapsody in Blue, for Piano and Orchestra, 1924

ピアノ独奏 **小原 孝**

OBARA Takashi, Piano solo

コープランド

交響曲第3番

Aaron COPLAND (1900-1990): Symphony No. 3, 1946

池袋駅西口

2012年10月21日(日) 2:00pm開演 東京芸術劇場コンサートホール

2:00pm, Sunday, October 21, 2012, at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall (Ikebukuro Station, West Exit) 1:15pm開場

入場料 S席:¥3,000 A席:¥2,500 B席:¥1,500(全席指定)

88ペアチケット(お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引させていただきます。下記コンサートイマジンのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ:コンサートイマジン03(3235)3777 <http://www.concert.co.jp/>でもお申し込みいただけます。

チケットのお申し込み:チケットぴあ:0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス(営業開始は9月1日):03(5391)3010(10:00~19:00)

PCから→<http://www.geigeki.jp/t/> 携帯電話から→<http://www/geigeki/i/t/>

CNプレイガイド:0570(08)9990(10:00~18:00) 0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しておりますので、ご希望の方は受付でお受け取りください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。

新響のホームページ<http://www.shinkyo.com/> Design: IMAO Keisuke

*託児サービスがございます(予約制)。詳細は裏面をご覧ください。

演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などご覧いただけます。

アメリカ音楽を作り上げた作曲家

ガーシュウィンとコーブランドの2人は、ともに「アメリカ音楽を作り上げた作曲家」と称されています。黒人文化に由来する音楽のジャズやヨーロッパの伝統的な民謡が元となったカントリーミュージックなど、アメリカ独特の音楽を取り入れたのが、クラシック分野における「アメリカ音楽」でしょう。

ガーシュウィンは1898年、コーブランドは1900年、ともにユダヤ系ロシア移民の息子として生まれ、ピアノを本格的に始めたのも同じ14歳でした。

ジャズとクラシックのクロスオーバー

ガーシュウィンは15歳で楽譜店のデモ演奏をするピアニストになり、ミュージカル作曲家となります。1924年にジャズバンドを率いるホワイトマンにピアノ・コンチェルトを依頼され「アメリカ音楽とは何か?」と題された実験コンサートで大成功を取めました。これが有名な『ラブソディ・イン・ブルー』です。組曲『グランドキャニオン』で知られる当時ホワイトマン楽団専属アレンジャーだったグローフェによって編曲されました。その後独学でオーケストレーションを学びます。38歳の若さで亡くなったので、管弦楽曲は少ないですが、多くのミュージカルと歌曲を残しました。

ブルーは「憂鬱な」といった意味ですが、ジャズのルーツであるブルースの語源なので、「ジャズの狂詩曲」というところでしょうか。クラリネットのグリッサンドで始まるワクワク楽しい曲で、多くのCMや「のだめカンタービレ」のエンディングに使われ一度は耳にしているはずです。ピアノ独奏には『ねこふんじゃった』のアレンジ演奏で知られNHK教育テレビへの出演など多方面で活躍している小原孝を迎えます。

古き良きアメリカを感じる交響曲

コーブランドは15歳で作曲家を志し21歳でフランスに留学しました。パリではジャズの要素を取り入れて作曲していましたが、1924年の帰国後はアメリカ民謡を研究してアメリカ的な音楽を模索し、『アパラチアの春』『ビリー・ザ・キッド』といった明るく親しみやすい曲を書きました。1946年に作曲された交響曲第3番は、それらの集大成ともいえるでしょう。その後は前衛音楽への道に進み90歳まで長生きをしましたが、これが最後の交響曲となりました。

抽象的な交響曲として書かれていますが、『市民のためのファンファーレ』が登場したり、ジャズや民謡が顔を出す愛国心溢れる曲です。ドラマ「大草原の小さな家」の情景が浮かんで来るのは、私だけではないかもしれません。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

今後の演奏会予定

<第220回演奏会>

2013年1月27日(日)14時 すみだトリフォニー

指揮 高関 健

曲目 ベルク/3つの管弦楽曲、ブルックナー/交響曲第5番
<第221回演奏会>

2013年4月29日(月祝)14時 東京芸術劇場

指揮 飯守泰次郎

<第222回演奏会>

2013年7月28日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 山下一史

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井真木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井真木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。

見学・オーディション等のお問い合わせは倉田まで。FAX:03-3922-0342またはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、キッズルームをご利用いただけます。ご利用時間は開演1時間前から終演後30分まで、ご利用料金は~1歳児2,000円、2~6歳児1,000円です。1週間前までにお申込みください。お申込み、お問い合わせ:東京芸術劇場キッズルーム準備室 電話03-5413-3427(テノ、コーポレーション東京本部 受付時間/平日9:00~18:00)